

# おれんじニュース

No382

2022年3月

## CONTENTS

月例山行案内	2
お知らせ	3
定期トレーニング	4
雲仙の秋冬の野鳥	5
京都トレイル	6
五家原岳	8
坊津へ行こう	9
おれんじカレンダー	10

毎朝のトレーニング、  
時には日向ぼっこで談笑

2022年	3月	4月	時間	場所
定期総会		2(土)	13:30~17:00	西諫早公民館
専門部会	8(火)	12(火)	13:30~15:30	
全体集会	23(水)	27(水)	19:00~21:00	



3月



## 月例山行案内

部	技術研修部	山行部	ひまわり部	自然保護部
月/日(曜)	3/6(日)	3/20(日)	3/25(金)	3/27(日)
山名(行事)	安満岳・鯛ノ鼻	眉山	烏帽子岩	松島一周・遠見山
地 図	紐差、生月	島原	長崎西南部	釜の浦/池島
集合場所	コロナ禍により中止	西諫早駅 8:00	諫早駅西口 8:50 西諫早駅 9:00	西諫早駅 8:30
難易度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1
帰着時間	17:30	16:00	15:30	17:30
歩行時間	4.5h	3.0h	4.0h	4.0h
交通手段	マイクロバス	マイカー	マイカー	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温泉	なし	なし	なし	なし
参加費	3,500	1,500	700	1,800
申込期限	3/1	3/13	3/21	2/20
集 約	山下ちづこ	田 村	田 中	中 野
備 考	平戸の海や島々、生月、五島までの景観を楽しむ	桜を愛でればラッキー	雲仙の山並み、天草諸島が一望できる	松島一周 9km のウォーキング

4月

\*3月はコロナ禍の状況により、中止や変更の可能性あり

部	技術研修部	山行部	自然保護部	ひまわり部
月/日(曜)	4/10(日)	4/17(日)	4/24(日)	4/29(金)
山名(行事)	福智山	鐘撞山~高祖山~叶岳	雲仙白雲の池・絹笠山	鳥甲岳・摩利支天宮
地 図	徳力・金田	福岡西南部	雲仙・島原	多良岳
集合場所	諫早駅西口 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅西口 7:00 西諫早駅 7:10	西諫早駅 8:00	西諫早駅 9:00
難易度	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1	体力1/技術1
帰着時間	19:30	18:00	16:00	17:00
歩行時間	4.5h	6.0h	2.5h	3.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	マイカー
宿泊施設	なし	なし	なし	なし
温泉	なし	なし	なし	なし
参加費	4,000	4,500	1,000	700
申込期限	4/5	12/30	4/17	4/25
集 約	山下ちづこ	田 村	中 野	田 中
備 考	虎尾桜、源平桜等を鑑賞しつつ登る	展望と自然林のアップダウンを楽しむ。	白雲の池、絹笠山で春を見つけ、自然観察と山野草の料理を味わう	シャクナゲの里河畔公園で群落を鑑賞

## 事務局より

- ◇ 2月1日付けで浦山和子さんが入会しました、山が大好きな女性です。皆さんどうぞよろしくお願いたします。

### ◇ アイゼンについて

1, アイゼンとはドイツ語で氷や氷化した雪の上を歩くときに、滑り止めとして靴底に装着する金属製の爪がついた登山用具のことを言う。

2, 種類

イ、軽アイゼン：爪が4～8本で低山の冬山、残雪期の雪渓歩行に適している。

ロ、アイゼン：爪が10か12本(標準)で本格的な冬山縦走、登攀に使用。

3, タイプ

イ、ベルトタイプ：コバのないタイプで登山靴をベルトで固定。

ロ、セミワンタッチタイプ：かかとにコバ、レバーとベルトで固定。

ハ、ワンタッチタイプ：前後にコバあり、金具とレバーで固定。

(コバとは、つま先や踵のひっかり部材のこと)



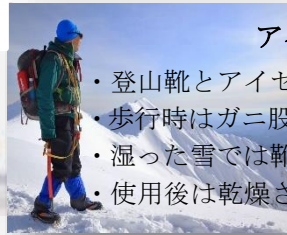
6本爪

12本爪



\* その他の転倒、滑り止め用具

- ①、スノーチェーン：初心者でも簡単装着、登山、トレッキング、雪道用
- ②、アイスウオーカー：かんじき、靴底用、低山冬山登山、トレッキング、合成ゴム使用
- ③、スノースパイク：簡単装着、材質は合成ゴム、鉄、ポリプロピレン、氷上・雪道転倒防止

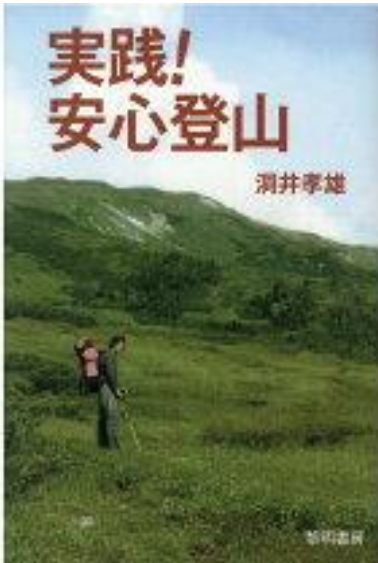


#### アイゼン使用時の注意点

- ・登山靴とアイゼンに隙間のないように固定。
- ・歩行時はガニ股歩きをしてスパッツ等にひっかからないように。
- ・湿った雪では靴底に付着するので、ストックなどで叩き落とす。
- ・使用後は乾燥させ保管、金属部はワックス等で手入れをする。



### ◇ 本の紹介



#### 内容

・数々の山に登り、過酷な経験を乗り越えてきた著者だからこそ書ける。

「安全登山」の心得を豊富なエピソードを交え詳述。

(技術以前の技術)：

今そこにある危険を知る。

(ネット上の落とし穴)：

山行回数、スキル、体力の問題に終始すると、山行そのものから知性が欠落する。

(ドキドキハラハラは写らない)：

苦勞しても、楽な山行で目的に達しても、同じ場所が変わりはない。そのプロセスは個々の価値観の問題。

#### プロフィール

1950年名古屋市生まれ、大学卒業後に仕事の傍ら、趣味として登山を追求する。

1980年から日本勤労者山岳連盟、愛知県勤労者山岳連盟の運営に携わる。2016年まで愛知県連盟会長、2017年まで全国連盟の副会長。1981年半田ファミリー山の会の発足から現在まで会長。現在も各種講座、遭難防止、教育活動に取り組んでいる。

日本ヒマラヤ協会会員、日本山岳文化学会会員。

著書に「安全登山の技法」などがある。

### ◇ 県連より

- ・2月19日～20日 第35回日本勤労者山岳連盟 定期総会(東京)
- ・3月13日(日) 第57期 長崎県勤労者山岳連盟 定期総会 13:30～16:00 市民会館1F
- ・5月に岩場の歩き方、「コロナ渦中の登山交流」6月中、7月沢登、11月～12月地図の見方予定



# 定期トレーニング

## コンパニオンレスキュー

実施日	1月29日	上下ハーネス	テントの設置	ロープ担架	シェラフ設置
場所	運動公園				
参加数	11名				



## 火曜岩ハイキング

	1/18・多良岳	1/25・帆柱岳～前岳	2/2・郡岳
参加	12名	14名	13名
行程	9:55 金泉寺P～11:10 前岳～11:50 多良岳 12:25～13:00 金泉寺～13:45 金泉寺P	10:30 帆柱岳P～11:00 帆柱岳～11:55 一ノ宮岳 12:10～12:55 黒木岳～13:50 前岳～15:30 前岳登山口	10:00 北登山口～11:20 遠目越～12:05 郡岳～12:55 郡岳東峰～13:35 遠目越～14:15 北登山口
感想	鬼の門からの前岳への登りの距離はないが急坂だった。尾根には一部まだ残雪があり、良かった。	帆柱岳から一ノ宮岳、黒木岳の縦走の登山ルートは明瞭だったが、一部ガラ場があった。	天気は良くなかったが、参加者全員元気に歩いた。奇妙なヒノキ群が印象的だった。
備考	多良岳への急登・前岳  	一ノ宮岳で休憩・鬼の門への下り  	妖怪の森・遠目越  



## 水曜登山

月日	1/12・猿葉山	1/19・火烧山	1/26・経ヶ岳
参加	10名	10名	8名
行程	8:50 猿場神社P～9:10 猿葉神社～9:45 猿葉山～10:15 かま岳～11:15 青少年自然の家 11:45～12:30 猿場神社P～富津～トンエル道～諫早	9:20 峠P～9:25 藤ノ棟堤～10:00 見晴らし岩～11:20 展望岩 11:40～12:20 281m峰～13:05 県道取付～13:10 火烧山～14:20 下山口～14:25 峠P	9:00 平谷キャンプ場P～10:10 馬の背～11:10 平谷越～12:00 経ヶ岳 12:30～13:05 つげ尾～14:50、800m 峰分岐～15:25 林道分岐～平谷キャンプP
感想	猿場神社参道は小浜地区 3 社詣でにふさわしく威厳がある。猿葉山登山道は九州自然歩道であるが一部荒れている。	このコースは低山なれど侮れず、起伏があり、樹木に隠れて岩場も多くて面白い。適当な距離、時間で訓練には丁度よい山だった。	経ヶ岳山頂直下の岩場とつげ尾側への下りは慎重な行動が必要。帰路の800m峰経由路も急坂があり、気を緩めることはできない。
備考	猿場神社参道・登山道  	展望岩・火烧山  	ソーメン滝?・経ヶ岳直下  



# バードウォッチング

(雲仙の秋冬の野鳥)



ルリビタキ(メス、撮影:アザミ谷)  
冬は本州以南で越冬する。  
メスは体上面がオリーブ色、白いアイリングがある



ツグミ(白雲の池)  
冬鳥。さえすらず口をつぐんでいる事が和名の由来。



ミヤマホオジロ  
(オス、撮影:アザミ谷)  
冬鳥。冠羽が特徴で、オスは目先からほおが黒く、胸には三角の星、喉と眉班黄色



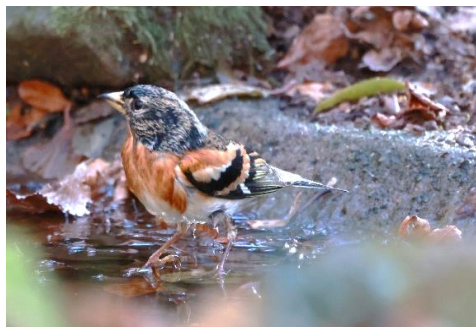
ミヤマホオジロ  
(メス、撮影:アザミ谷)  
冬鳥。メスは全体に淡く、眉班も淡い。胸は黄褐色、地上にいる事が多い。



エナガ(撮影:三十路苑)  
留鳥。ぬいぐるみのようにふわふわで尾羽が長い



シロハラ(撮影:白雲の池)  
冬鳥。全国的に飛来する。落ちた植物の実やミミズを探す



アトリ(オス、撮影:アザミ谷)  
冬鳥。黒と橙色のコントラストで、オスは頭部から背にかけて黒っぽい



アトリ(メス、撮影:アザミ谷)  
冬鳥。頭部が灰色ぎみの褐色。西日本では大群が観察される事あり



雲仙での秋冬に撮りました野鳥を紹介します。秋冬も色とりどりの野鳥がきてくれました。野鳥を撮る場合、鳥がきてくれるまで待つので、ときには一時間くらい待つこともあります。雲仙で撮影する場合は、夏は涼しくていいのですが、秋冬は寒いので、防寒をしっかりしなくてはなりません。でも、どんな鳥がくるか楽しみにして撮影をしています。(吉原 記)



# 京都一周トレイル



昨年10月末、コロナが若干落ち着いてきたとき、今だとばかり、以前から考えていた京都一周トレイルを実行に移すことに。幸いに直前でも京都駅前の都ホテル、夜行高速バスも予約がとれた。京都一周トレイルは京都盆地を囲む周囲の山を縦走するコースで、伏見・深草、東山、北山東部、北山西部、西山、京北のコースがある。出発前にある程度行程を計画していたが、1日目歩いて、思っていたより時間がかかることや天気予報などを考慮し、3人で相談しながら2日目からの行程を柔軟に変更して実施した。今回私たちが歩いたのは伏見・深草コース、東山コース、北山西部コースの一部と西山コース。

**京都一周トレイルコース公式ガイドマップ**には、トレイルコースの標識番号が掲載されていて、歩く道の要所要所には番号のついた標識が建っている。標識を見つながら歩くことで道迷いをすることはなかった。公式ガイドマップにはコースの高低差とおよその歩行時間がわかる図も掲載されていて行程を予想できた。バス電車路線や停留所、京都駅からの交通手段なども掲載されていて、とても役に立った。



京都一周トレイルコース  
公式ガイドマップより



京都一周トレイル標識

## 行程:

出発：2021年10/28(木) 20:25 諫早インターバス停、近鉄高速バスオランダ号乗車

1日目 10/29(金) 京都駅八条口着07:55～都ホテル京都八条8:00

伏見・深草(伏見・深草コース1) 出発8:38～伏見稲荷大社奥社12:55  
～阿弥陀ヶ峠(東山コース15-2) 14:53 終了 バスで京都駅へ

歩行距離・時間 15.1km 6時間 15分

2日目 10/30(土) JRバスで梅ノ尾バス停8:50～高山寺～白雲橋～  
金鈴橋(北山西部コース94 西山コース1)～書物岩～嵯峨鳥居本町  
街並み保存館見物～化野念仏寺～嵐山公園～渡月橋～松尾山(西山  
コース36) 15:15～苔寺すず虫寺バス停16:19 終了 バスで京都駅へ

歩行距離・時間 16.8km 7時間 30分



伏見稲荷大社





北山杉の  
東海自然歩道



書物岩から

3日目 10/31(日) 京都烏丸口バス停8:30—比叡山延暦寺バスセンター9:54～延暦寺境内散策  
～ケーブル比叡駅(東山コース74)11:33～てんこ山～白鳥山13:30～哲学の道(東山コース50)  
～霊巖寺(東山コース48)15:17～錦林車庫バス停終了—バスで京都駅へ

歩行距離・時間 11.2 km 5時間 22分



比叡山ケーブル駅横



延暦寺境内

4日目 11/1(月)

都ホテル京都八条8:00—市バスで錦林車庫前～霊巖寺(東山コース48)9:18～大文字山～大文字送り火床～大文字山11:44～大文字山四辻～大日山12:15～日向大神宮～天の岩戸～蹴上インクライン(東山コース30-2)～東山山頂公園(東山コース22)14:32終了 バスで京都駅へ～  
京都タワー～京都駅でお土産を買って夕食。旅の無事終了を祝い、ビールで乾杯。ホテルに戻り、荷物を整理。

歩行距離・時間 10.0km 5時間 14分

京都駅前19:00発 近鉄高速バスオランダ号乗車

11/2(火) 6:52 諫早インターバス停帰着



大文字山火床

コースの近くには、たくさんの有名なお寺や神社など名所があったが、私たちはコースをあまり外れることなくひたすら歩いた。歩くのが楽しくて楽しくて、歩くことに取りつかれたような旅だった。それでもコースには伏見稲荷大社や哲学の道、天の岩戸、蹴上インクライン、嵐山渡月橋などが含まれていた。比叡山の延暦寺境内、高山寺、嵯峨鳥居本町街並み保存館、化野念仏寺、大文字山火床に寄り道して見物。京都ならではの旅を楽しむこともできた。最終日の歩きを終了した後、京都タワーに登り、歩いた山々を眺め、病氣、怪我もなく、お天気にも恵まれ、4日間歩き通せたことに感謝した。

(高田 記)



# 1/28(金) 五家原岳



参加者  
福岡 金丸 田中  
田村 高田 林

## 行程

西諫早駅 9:10—広域林道 P 9:40  
～仏の辻 12:00～五家原岳 12:35(昼食 40)  
五か原岳県道仏の辻登口 14:20  
～広域林道 P 1520～西諫早駅 15:50



## 登山概要

広域林道の広いスペースに車止める。修多羅の森の方向に15分歩くと、自然の家から上がって来た道に着く、五家原岳、仏の辻コースの標識あり。登り始めは急斜面で石と木の根が張り出っていて足元が悪い、ひまわりメンバーには厳しい道でした、そこが終わると林に囲まれたなだらか道で、歩きやすく気持ち良い。五家原岳へ続く県道に出る、そこ横切り直登の急坂を登ると傾斜もゆるくなってくる。しばらく登るとツゲの木が多くなり五家原岳の展望が開ける、登山道脇に虚空蔵菩薩が祀られた仏の辻に着く。ここから少し行くと再び車道に出る、山頂まで舗装道路を進む。山頂はテレビ局のパラボラアンテナが林立し駐車場あり。展望は360度開け、東から北にかけて多良岳、経ヶ岳をはじめ多良山地の山並みが、その奥には虚空蔵山、また、南には雲仙の山々が望まれ、西には大村湾と西彼杵半島から長崎方面の山々が一望される。下山は途中まで車道を歩く。



# 坊津へ行こう

南さつま市坊津は海上交通の要衝として古代より繁栄していた。それ故に刻まれた歴史的事実を簡単に二件紹介したい。一件は誰でも知っている鑑真上陸の件であり、二件は太平洋戦争の悲劇である。なお、南さつま市にはかつて訪れた八重山や磯間嶽、岩登りの千貫岩や金峰山がある。また坊津と山を訪ねたいものである。



坊津秋目浦(鑑真上陸地)

## 日中友好の先駆者・鑑真和尚 上陸の地

失明の果てに6回目の日本渡航を試みた唐僧鑑真は、753(奈良時代 天平勝宝 5)年、南さつま市坊津町秋目浦に上陸した。

日本に仏教伝来以来、興隆に向かうものの、僧尼の質は問題が多くなり、そのため、戒律を守り修業を積んだ真の僧尼を育成できるような制度の確立が要望されていた。

そのような折、日本仏教界の招請に応じたのが唐の高僧鑑真だった。

来日後、鑑真は戒壇院を築いて多くの僧尼に授戒し、日本仏教の刷新に力をつくしたが、763(天平宝字 7)年、76 歳をもって唐招提寺で入寂した。

## 馬来丸の悲劇

昭和 20/1/25 13:50  
陸軍輸送船「馬来丸」は坊津町久志湾沖を航行中、魚雷により撃沈された。



馬来丸

兵員 2,055 名中 1,612 名が犠牲となった。筆者の人生に深く係わって来る YH 氏も乗船していたが、奇跡とも思える後甲板に出た直後の事である。冬の海に投げ出され久志浜に漂着し、国防婦人会の介抱で蘇生した。その後毎年坊津に慰霊に訪れていた。後年、彼はそれらの経緯を「死出の床」として数枚に書きまとめ筆者に手渡された。

きっと筆者に宛てた平和を願う遺言だと思っている。





# おれんじカレンダー

3月			4月		
1	火	火曜岩ハイキング	1	金	
2	水	水曜登山	2	土	第44回定期総会
3	木		3	日	
4	金		4	月	
5	土	ボルダリング	5	火	火曜岩ハイキング
6	日	安満岳・鯛ノ鼻(技研部)……中止	6	水	水曜登山
7	月		7	木	
8	火	火曜岩ハイキング(専門部会)	8	金	
9	水	水曜登山	9	土	ボルダリング
10	木		10	日	福智山(技研部)
11	金		11	月	
12	土	ボルダリング	12	火	火曜岩ハイキング(専門部会)
13	日		13	水	水曜登山
14	月		14	木	
15	火	火曜岩ハイキング	15	金	
16	水	水曜登山	16	土	ボルダリング
17	木		17	日	鐘撞山～高祖山～高地山～叶岳(山行部)
18	金		18	月	
19	土	ボルダリング	19	火	火曜岩ハイキング
20	日	眉山(山行部)	20	水	水曜登山
21	月		21	木	
22	火	火曜岩ハイキング	22	金	
23	水	水曜登山(全体集会)	23	土	ボルダリング
24	木		24	日	雲仙白雲の池・絹笠山(自然保護部)
25	金	烏帽子岩(ひまわり部)	25	月	
26	土	コンパニオンレスキュー	26	火	火曜岩ハイキング
27	日	松島一周・遠見山(自然保護部)	27	水	水曜登山(全体集会)
28	月		28	木	
29	火	火曜岩ハイキング	29	金	烏甲岳・摩利支天宮(ひまわり部)
30	水	水曜登山	30	土	コンパニオンレスキュー
31	木				

川原顧問所掌➡火曜岩ハイキング(9:00)、コンパニオンレスキュー(月末土曜 9:30) 西諫早駅集合  
ボルダリング(コンパニオンレスキュー日を除く毎土曜 13:30) またたび

発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	鎗水 律夫
編集委員	鎗水律夫、福岡正廣、工藤学、中里利行、林孝子 中野美津子、田中静香、高田啓子、山下文代
発行年月日	2022/2/23
郵便振込口座	
ホームページ	<a href="http://orangehikingclub.com">http://orangehikingclub.com</a>